

藍染 暖簾展

展示会期：2022年7月7日(木)～8月9日(火)

時 間：10：30～18：30

入 場 料：無料

会 場：リビングデザインセンターOZONE 7階
blue²@Tokushima LED[∞]藍

主 催：徳島県 blue²@Tokushima LED[∞]藍

企 画：リビングデザインセンターOZONE（東京ガスコミュニケーションズ株式会社）

問 合 せ：03-5322-6500（代） 10：30～18：30 水曜日休館（祝日除く）



* 徳島県「藍の日」：7月24日

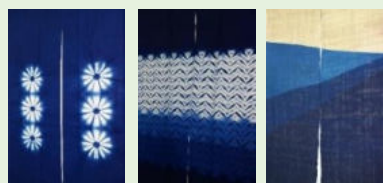
県民の藍に対する関心と理解を深め、徳島県の藍に関する文化の継承及び産業の振興を図り、あわせて国内外に向けた藍の魅力を発信するため、「とくしま藍の日及び徳島県の色を定める条例」を制定。

* 「藍推進月間」

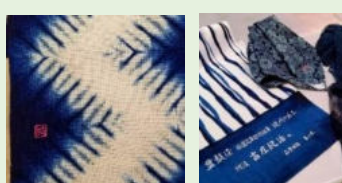
「藍の日」の条例に基づき、毎年7月を「藍推進月間」と定め、様々なイベントを通して、藍の魅力発信に取り組んでいます。

今年は藍染暖簾がいっぱい！

暑い夏を藍染暖簾で涼みませんか？徳島の藍染された暖簾が一堂に会します。



長尾織布



古庄染工場



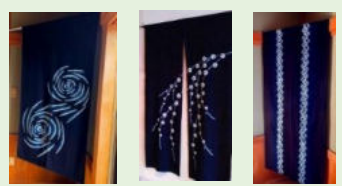
藍染工芸館



ボン・アーム



岡本織布工場・藍布屋



本藍染矢野工場



ISSO（一草）



徳島県

* 画像と展示品は異なる場合があります。

* 連動展示 徳島県立城西高等学校 植物活用科 阿波藍専攻班

徳島県立城西高等学校 植物活用科では、草花やタデアイの栽培、バイオテクノロジーをととした「交流から学ぶ緑活用術」をモットーとし、植物を取り入れた快適な生活空間の創造と文化の伝承に力を入れ、地域との交流を積極的に行い進路実現に向け、様々な分野で活躍できる将来のスペシャリストを育成しています。

農業科の中の一つ、植物活用科 阿波藍専攻班では、伝統文化といえる「藍」についての研究をしています。

この展示では、タデアイ栽培から染料「すくも」づくり、製造した「すくも」を活用し、伝統的な「天然灰汁発酵建て」による本藍染め、さらに本藍染め製品の販売まで、生産から販売までの一貫教育の取り組みの成果を披露します。

展示のお問い合わせ等は以下のメールアドレスにお問い合わせください。

led_tokushima01@mail-ozone.jp

〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー
リビングデザインセンターOZONE（東京ガスコミュニケーションズ（株））
Tel: 03-5322-6500（代） 10：30～18：30 休館日：水曜日（祝日を除く）
8/10（火）～13（金）は夏期休館となります。

JR 新宿駅南口から徒歩約 12 分
京王線初台駅から徒歩約 8 分
小田急線参宮橋駅から徒歩約 8 分
都営大江戸線都庁前駅から徒歩約 8 分

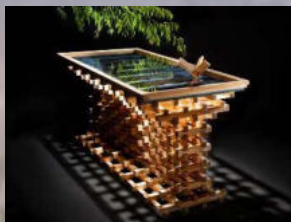




INDIGO HERB TEA : 阿波藍茶
(株)ボン・アーム



徳島県産の藍を100%使用したノンカフェインティーです。焙煎工程を加えることにより、藍特有のエグみや青臭さをなくすことに成功しました。



KIYOMIZU : 西部木工

地域資源である徳島杉を藍で染め、地場産業である木工の技術と宮大工的な技法で釘を1本も使わず、井桁状に重ね合わせ部分すべてに相シヤクリ加工を施し、縦横146本使い、1096か所を丁寧に手加工で削り組み上げました。



遊山箱 : 工房フローラ

郷土の一流職人の手で、懐かしい遊山箱を美しい工芸品へと仕上げました。古きよきものを世代を超えて遺したい、そんな願いから生まれたのがMIYURI遊山箱「藍シリーズ」です。



藍染建材 : (株)ダイリFPC

徳島杉と藍染料のコラボレーションにより生まれた建築材料シリーズです。徳島杉がもつラスティックな風合い【源平(赤、白の木の色)や節】が、藍染料と出会うことで和風でありながらモダンな意匠となりました。



モダン 神棚 セット : (有)伊川彫刻店

国産ヒノキを材料に使用し、裏板は空をイメージして阿波藍の沈殿藍にて着色し、伝統を感じさせながらも現代生活にマッチするようシンプルでモダンなデザインに仕上げました。



藍染シルクストール : (株)トータス

厳選シルクを自社栽培の天然無農薬藍染料で一枚一枚手染めして仕立てたオリジナルストール。

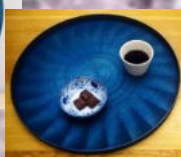


大谷焼 : 大西陶器

大谷焼は、土という素材のもつ無限の自由な創造性、神聖な炎との出会いに依る斬新な感覚の物を造るべく日々努力しています。



藍染壁掛け時計・藍染トレイ : (有)森工芸



『ツキ板』を貼ることを専門に約70年の歴史の中から培った技術や木の知識により貼り合わせ方を工夫したり、いろいろな色の木を組み合わせた、様々な意匠をご提案



しじら檜置時計 : ヨシモク

先代から続く木工の技術と、自身が学んできた音響の知識を生かし、木工職人にしかできないスピーカー作りを行っています。



藍デザインコンクリート : (株)リテラス

天然藍と欧州コンクリートを組み合わせることにより、藍染のような濃淡の美しいコンクリートを建築・内装からインテリア・家具まで様々なシーンに彩りを表現します。おもにアートパネルや看板、表札などにお使いいただいておりますが、場所等問わず施工が可能です。



本藍染革製品 : ghoe

一針一針「手縫い」で仕立てることは当然ながら、革の裁断から仕上げまで全ての工程で、職人の手作業でしか成しえない特別なクオリティを追求します。



コサージュ : (有)フラワーショップ慶

伝統ある「灰汁発酵染」という手法で染色し、化学染料は一切使用していません。藍染の無限の濃淡を組み合わせることにより、染色だからこそ味わうことのできるシンプルで素朴なイメージを表現しております。



藍染檜料理皿大小 : (合)AOLA

国産檜を使用し、すっきりとシンプルな正方形の料理皿です。使い勝手も良く、使えば使うほど馴染みが出てきます。藍染はグラデーションでデザイン的に仕上げています。



藍染め麻タペストリー : (株)絹や

熟練の技術者が一枚々丹念に手染めした美しい色の「深み」「ムラ感」「冴え」のあるタペストリーです。



藍染皿 : 舞工房

産地の卓越した技術・技能が結集。独自の塗装技術と、徳島の藍染や木工職人の高度な技術を融合し、徳島にしかできないものの作りがコンセプトです。



aiハンドバーム : Doing now(合)

古くは江戸時代から抗酸化作用が謳われ、薬として使われてきた阿波藍と、高保湿の天然成分を配合した美しい藍色の自然派コスメ。余計なものは入れず、シンプルな成分のみ敏感肌の方でも安心してお使い頂けます。



阿波藍の眼鏡フレームFascino Ribelle : S&Fアソシエイツ

修行した鯖江の眼鏡作りの技と、生まれ育った阿波の藍を融合した眼鏡です。



JAPAN BLUE 万年筆 (軸・蓋) : (株)長尾製作所

アルミニウムを陽極酸化させ、表面に形成された10ナノメートル程の微細な孔に色素を封じ込めて彩色する「カラーアルマイト」技法を使い、沈殿藍(阿波産)の色素をアルミニウムに封じ込め藍色に彩色した独自素材です。彩色による装飾性とアルマイト皮膜による耐食・耐摩耗性を兼ね備えています。



アートパネル : アワガミファクトリー

阿波藍で染色を施したアートパネルは、熟練した職人が独創的に作り上げています。

UNI-Master d.Kai kristiansen : (株)宮崎椅子製作所

良質の材料、優れた技術、心を込めた丁寧な仕事を信条として、ユーザーとつくり手の喜びが通い合うモノづくりを目指します。

